

現代社会論Ⅰ

科目ナンバリング SOC-103
必修 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は社会学の学習への入門である。
われわれはしばしば「頑張る」とことば(「頑張ります」「頑張ろう」「頑張つて」「頑張れ」など)をつかう。そこで、「頑張る」=忍耐して努力することを切り口にして社会(特に日本社会)を分析していく。このようにことばの分析から社会のあり方へアプローチする。

2. 授業の到達目標

- ① 社会的なものの方・考え方を修得する。
- ② 現代社会、特に現代日本社会のあり方・問題点への関心を深めることができる。
- ③ 新聞記事やニュースに接する時に、自分なりの見方ができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクション・ペーパー(30%)、小テスト(20%)、期末試験(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

大川清丈 『がんばること／がんばらないこと社会学——努力主義のゆくえ』2016 ハーベスト社

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学習の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。
MELICで図書を検索し借りること。

6. その他履修上の注意事項

現代社会論Ⅱと併せて履修すること。
現代社会への多角的な見方を学んでほしい。
授業中に配布したプリントはファイルしておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 社会とは何か・社会学とは何か
- 【第3回】 現代とはいつか
- 【第4回】 翻訳語としての「社会」
- 【第5回】 社会と世間
- 【第6回】 「頑張り」=努力主義と日本社会(1)序論
- 【第7回】 「頑張り」=努力主義と日本社会(2)能力平等観
- 【第8回】 まとめと小テスト
- 【第9回】 「頑張り」=努力主義と日本社会(3)同調的個人主義
- 【第10回】 「頑張り」=努力主義と日本社会(4)「頑張り」=努力主義の現在
- 【第11回】 「頑張り」=努力主義と日本社会(5)「頑張り」=努力主義の事例
- 【第12回】 戦後日本の「頑張り」=努力主義(1)「頑張る」の語義史
- 【第13回】 戦後日本の「頑張り」=努力主義(2)努力の社会学
- 【第14回】 戦後日本の「頑張り」=努力主義(3)戦後の変容
- 【第15回】 まとめと試験